

# << 注 意 報 >>

岡病防第17号

平成28年9月7日

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長

## 病害虫発生予察情報の発表

病害虫発生予察注意報第2号を下記のとおり発表したの送付します。

### 平成28年度病害虫発生予察注意報 第2号

平成28年9月7日

岡山県

#### 病害虫名 **ハスモンヨトウ**

##### 1. 発生が予想される地域・作物

県下全域のダイズ、野菜類、花き類

##### 2. 発生の蔓延が予想される時期

9月上旬～10月下旬

##### 3. 予想される発生量

多

##### 4. 注意報発表の根拠

- (1) 9月2～6日の巡回調査によると、若齢幼虫の食害によるダイズの被害葉(白化葉)の県下全域の**発生圃場率は40.7%で平年(24.2%)より高く**、直近で注意報を発表した平成15年(33.6%)、17年(38.4%)より高かった。
- (2) 7月から8月までのフェロモントラップ(赤磐市)における**誘殺数は、3,008頭で平年(1,510頭)の約2倍**と多かった。

##### 5. 防除対策及び防除上の参考事項

- (1) 本虫はダイズ以外に、雑穀ではアズキ、野菜ではサツマイモ、サトイモ、キャベツ、ナス、ハクサイ、ダイコン、カブ、レタス、ネギ、トマト、ピーマン、ニンジン、イチゴ、アスパラガス、ブロッコリー、果樹ではブドウ、カキ、カンキツ類、花きではキク、バラ、シクラメンなど広範な作物を加害する。
- (2) 若齢幼虫が群生している被害葉(白化葉)を切り取って処分する。
- (3) 幼虫が中齢(体長約2cm)以上になると圃場に分散して食害するようになり、被害量が増大するだけでなく、薬剤の効果が劣ってくるので、若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
- (4) 薬剤散布に当たっては薬剤が葉裏にも十分かかるよう留意する。また、薬剤散布後は効果を確認するとともに、その後の幼虫の発生に注意する。
- (5) ダイズ及びエダマメにおける主な防除薬剤は下表のとおりであるが、その他の作物については、各作物に登録のある薬剤で防除する。なお、薬剤抵抗性の発達の恐れがあるため、同じ系統の薬剤の連用や効果が低下した薬剤の使用は避ける。また、薬剤の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、人畜、水産動物等への危害防止に努める。

表1 ダイズにおけるハスモンヨトウの主な防除薬剤

系統名	薬剤名	農薬使用基準		
		使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量
合成ピレスロイド系剤	トレボン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000倍
	トレボン粉剤DL (*1)	収穫14日前まで		4kg/10a
IGR剤	アタブロン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000～4,000倍
	ロムダンフロアブル	収穫14日前まで		2,000倍
	ロムダンゾル	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍
	ロムダン粉剤DL	収穫14日前まで		4kg/10a
	ノーモルト乳剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍
	カスケード乳剤	収穫7日前まで	2回以内	4,000倍
	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000～3,000倍
その他	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	2,000～3,000倍
	プレオフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000～2,000倍
	フェニックス顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍
	フェニックスフロアブル	収穫7日前まで		2,000～4,000倍
	プレバソソフロアブル5	収穫7日前まで	2回以内	4,000倍
	トルネードエースDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍
	ベネビアOD (*2)	収穫7日前まで	3回以内	2,000～4,000倍
	ディアナSC (*1)	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍

(\*1) 豆類（種実）で登録

(\*2) TPNを含む農薬、ストロビルリン系の薬剤を含む農薬及び銅剤との混用は薬害のおそれがあるので混用しない

表2 エダマメにおけるハスモンヨトウの主な防除薬剤

系統名	薬剤名	農薬使用基準		
		使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量
合成ピレスロイド系剤	トレボン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍
	トレボン粉剤DL	収穫14日前まで		3～4kg/10a
IGR剤	アタブロン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000～4,000倍
	ノーモルト乳剤	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍
	カスケード乳剤	収穫前日まで	2回以内	4,000倍
	マトリックフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000～3,000倍
その他	アフーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	1,000～2,000倍
	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	2,000～3,000倍
	プレオフロアブル (*1)	収穫前日まで	3回以内	1,000倍
	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで		2,000倍
	フェニックスフロアブル	収穫前日まで	2,000～4,000倍	
	プレバソソフロアブル5	収穫3日前まで	3回以内	4,000倍
	トルネードエースDF	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍
	ベネビアOD (*2)	収穫前日まで	3回以内	2,000～4,000倍
ディアナSC (*1)	収穫前日まで	2回以内	2,500～5,000倍	

(\*1) 豆類（未成熟）で登録

(\*2) TPNを含む農薬、ストロビルリン系の薬剤を含む農薬及び銅剤との混用は薬害のおそれがあるので混用しない

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。

